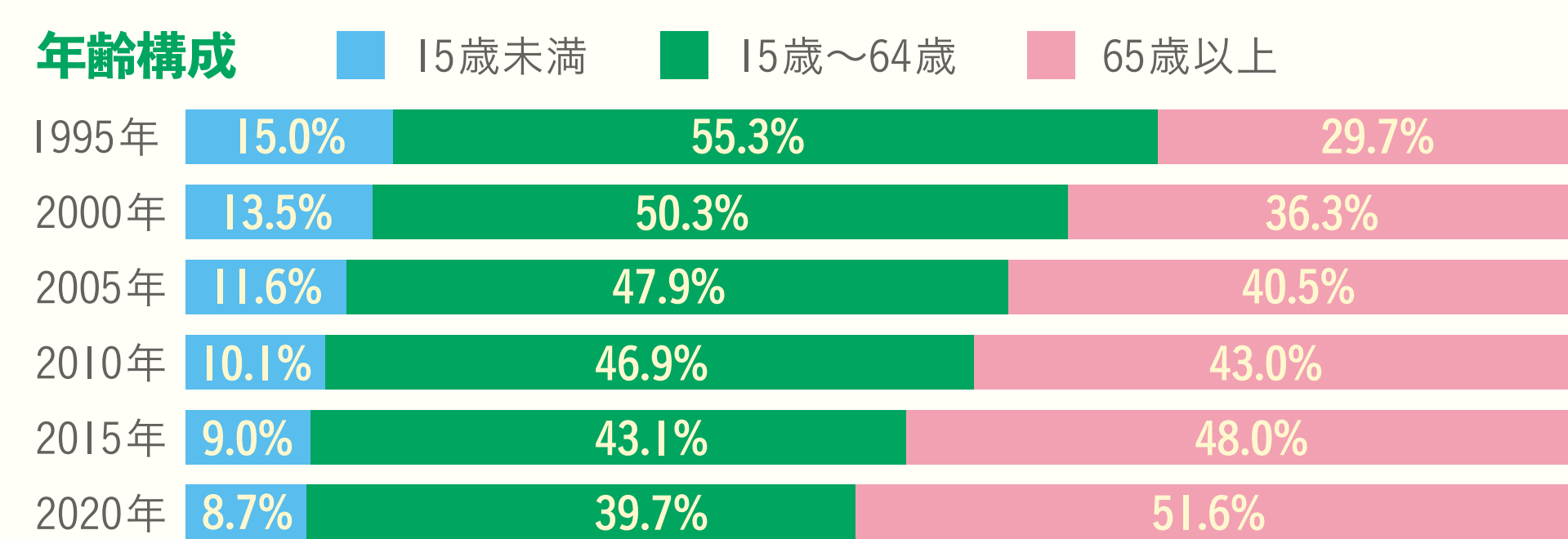
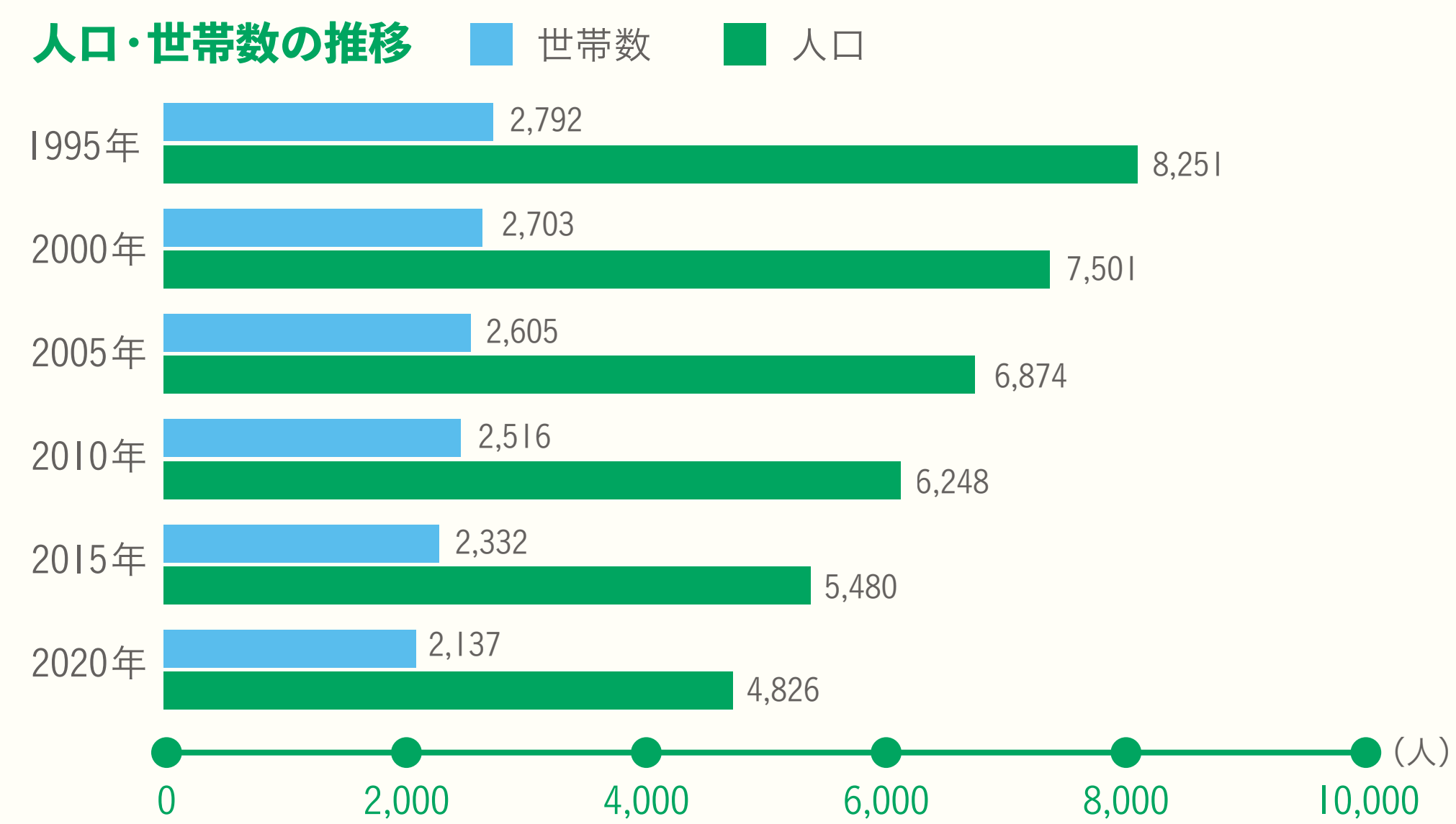
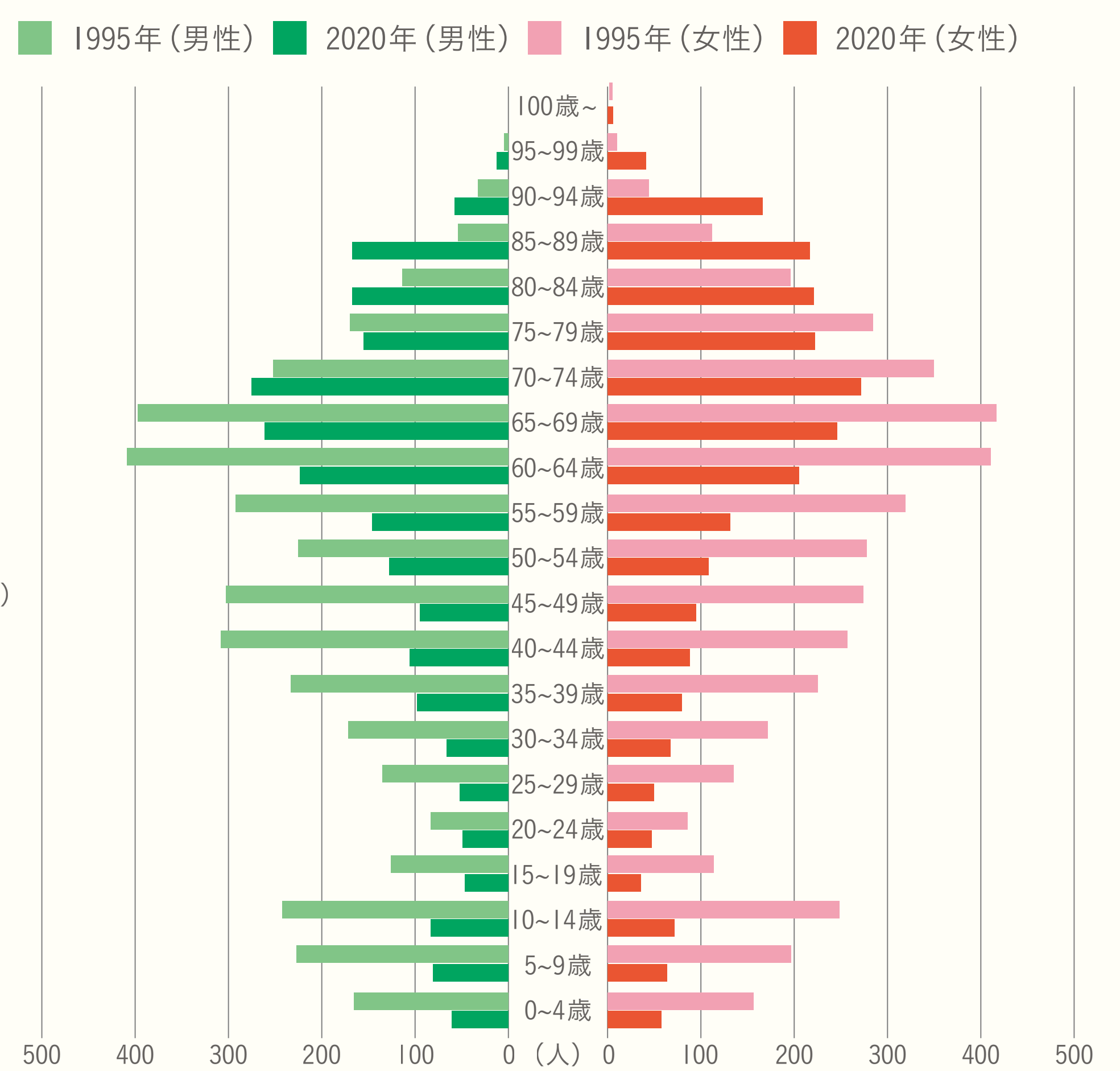


データでみるみさとの「暮らし」と「しごと」

みさとの人口・世帯数

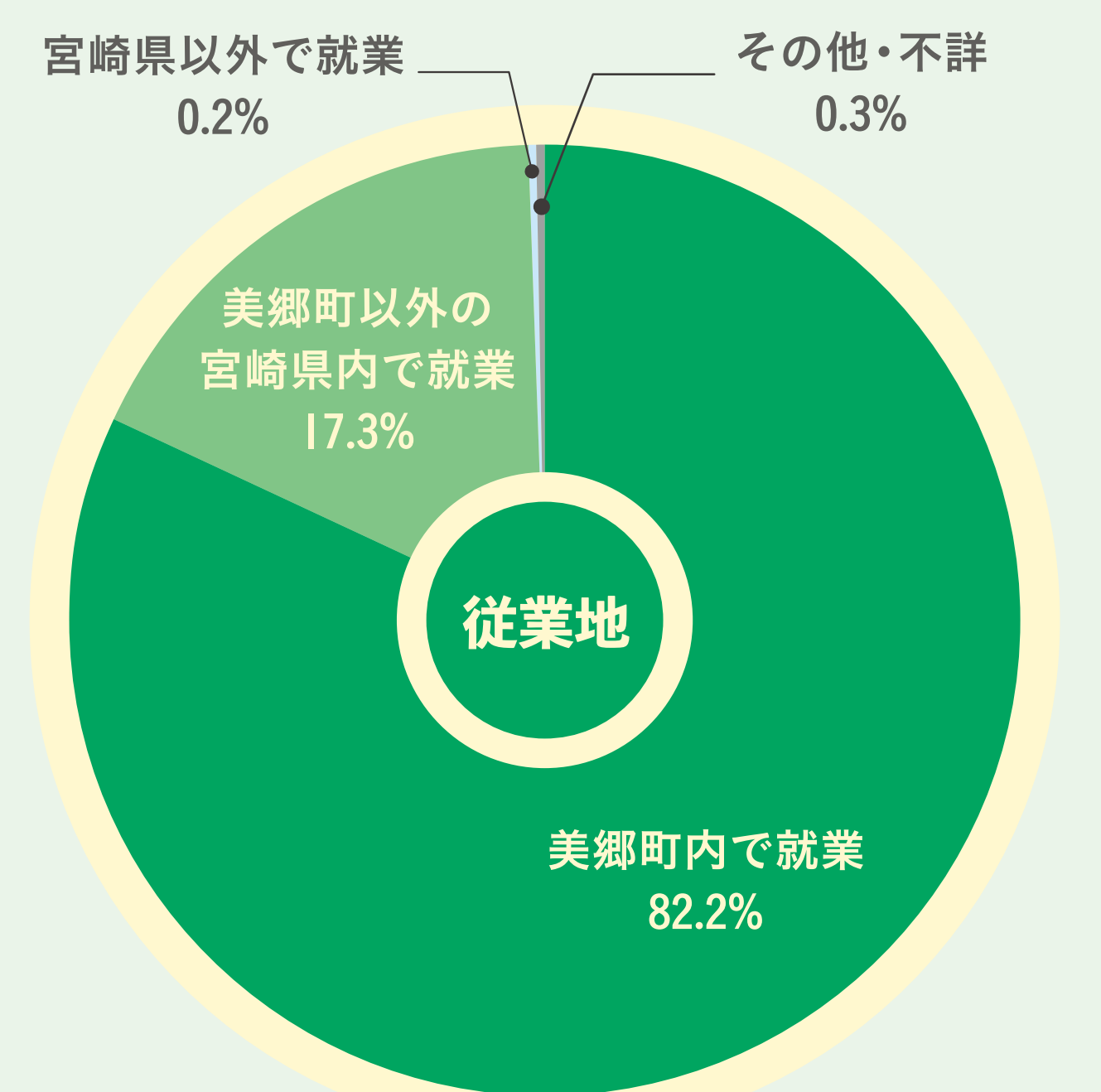


人口ピラミッド



みさとに暮らすみなさんの就業する産業

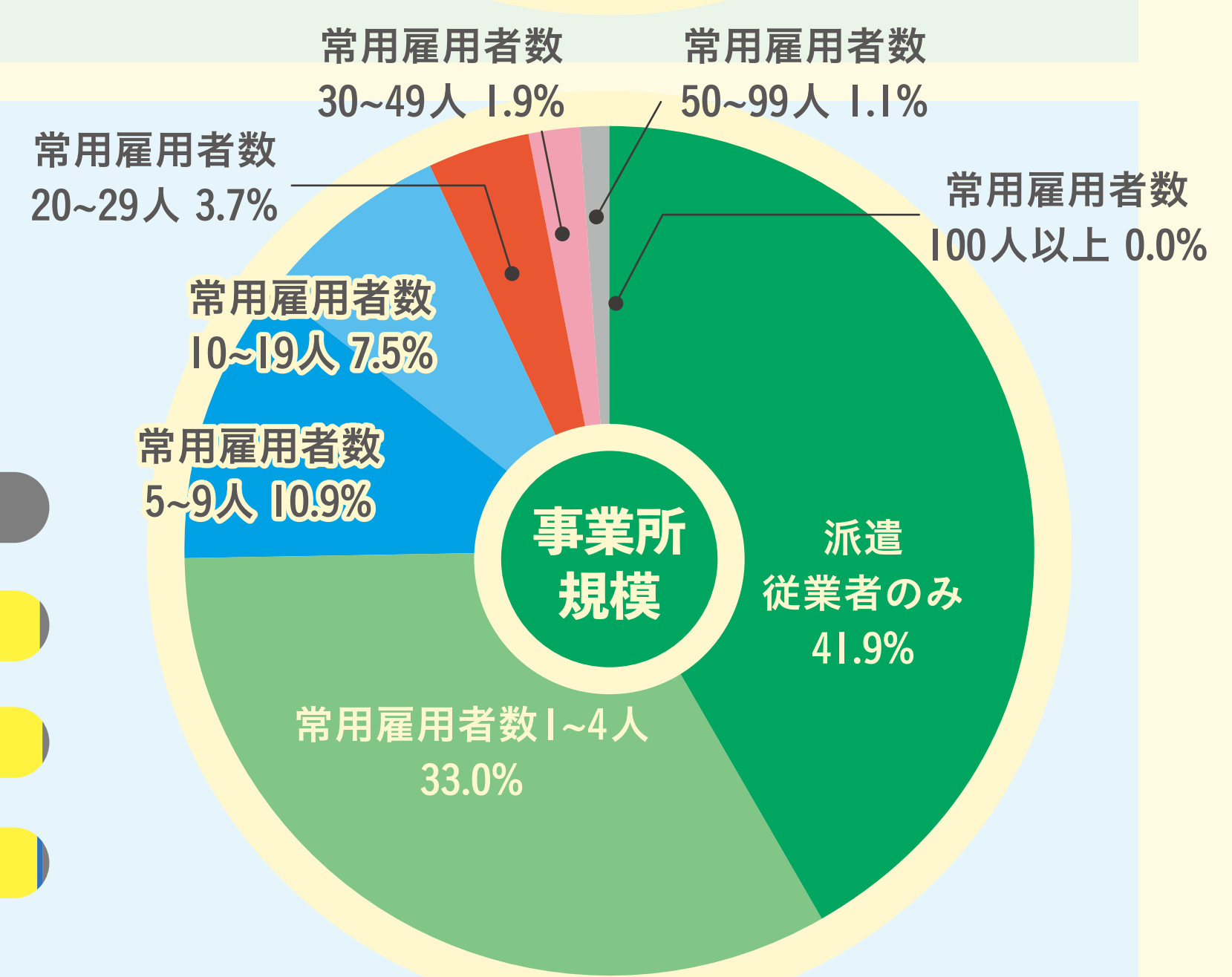
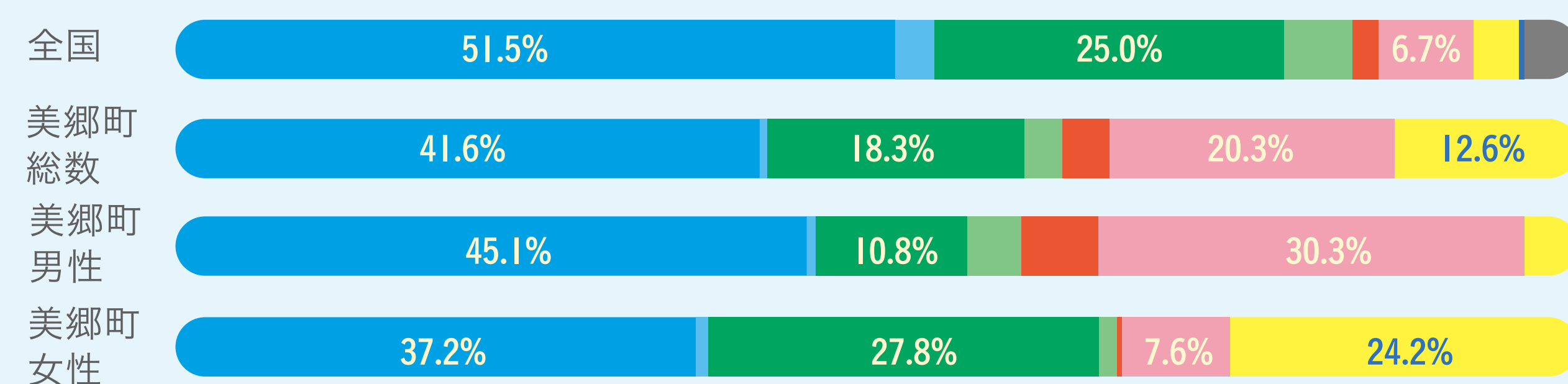
産業別就労者数



みさとに暮らすみなさんの就業する事業所・働き方

従業上の地位

■ (雇用者) 正規の職員、従業員 ■ (雇用者) 労働者派遣事業所の派遣社員
■ (雇用者) パート・アルバイト・その他 ■ 役員 ■ 雇人のある業主
■ 雇人のない業主 ■ 家族従業者 ■ 家庭内職者 ■ 従業上の地位「不詳」



33人のみさと町のみなさんに、お話をききました！

美郷町でさまざまな活動をしている33名の方にヒアリング調査を行いました。ヒアリングはお一人、1時間程度。美郷町の魅力や課題、ご自身の活動やこれから力を入れて取り組んでいきたいこと、これからの美郷町でどんな暮らしがしたいか、どんなまちになってほしいかを伺いました。ヒアリングで伺った意見を整理した結果をご紹介します。



みさとの暮らし

自然

田や山に囲まれた暮らし
風景が美しい。毎日、美郷町の景色を見ることができて最高

インフラ

病院が選べず、特に専門病院は都市部に行かないと不安

インターネット、光、5Gのカバー率が低い

災害も増えて台風の被災なども多く、地域のインフラを維持しつづけることができるか不安

生活を支える、コンビニ的な店舗が必要

住居や買い物

空き家はあるが、1ターンのも1ターンのも地元在住者にも住む場所がない。特に独身で住める場所がない

環境

一度つまずいても何かチャレンジできる仕組みや場所が必要

教育

子どもたちの教育の選択肢が少ない
少ない人数の中で育つので、手厚い環境がある一方、価値観の固定や競争心が多い

子育て

子どもたちがやりたいこと（勉強やスポーツ）ができる環境が必要

地域で子育てしている感覚、人ながみでくれているというイメージ

子育て環境

育児サポートなどの充実

みさとの人

穏やかで優しい

ガツガツしていない

美郷町は「人」がいい

人、つながり

地域の役が一人に集中、世代交代が必要だが担い手がない

地域の担い手

元気な高齢者が多い

地域のつながり

程よい距離感

ウワサがすぐに広まる

高齢者は病院などの送り迎えなども協力し、助け合っている

ウワサがすぐに広まる

みさとの楽しみ

文化・スポーツ

文化的な活動が少ない

女性グループの活動が盛ん（ドレッシングづくりなど食関係の活動）

ウエイクボードをするには日本で1番良い環境

スポーツ

スポーツが盛ん、地区でのスポーツイベントも多い

地元トレイルランコースを作りたい（九州自然歩道などポテンシャルもある）

飲み方

夜に集まって飲む、昔の雰囲気や楽しさが続く暮らしがしたい

飲み方ばかりしている印象

地域活動のあとの飲み会、わーわー飲みながら話す、楽しくにぎやかなのがいい

集まる場

行事や集まるなくなると、地域の美味しい郷土料理などもなくなっていく

地域の集まり

若い人、子どもたちと高齢者、子育て世代、地域外からの人、多様な人が集まって交流できる機会や拠点を作りたい

自分たちで美郷町を楽しむ方法、田舎の楽しさをつくっていく、そして発信していく

郷土愛

地域のルーツを感じ、文化、神楽やお祭りがある

地域の団結力、地域のイベントへの参加が多い

川の文化

河川流域の歴史的なつながり、日向から熊本への人の流れ、歴史文化が面白い

川で遊ぶ文化

田舎暮らし

自分たちで美郷町を楽しむ方法、田舎の楽しさをつくっていく、そして発信していく

自分の時間を持つ、自分軸で時間を組み立てられる魅力

田舎の時間

みさとのしごと

働き方

「好きなことをする」と「生活できること」の両立

リモートワークなど、多拠点生活の視点も可能性がある

働き方

自分でつくる

自分で仕事をつくる」ことが大切、美郷でも起業できる

まずはやってみることを大切に、楽しみながら、できることを小さくはじめる

起業に向けたサポート

新規事業を立ち上げるノウハウを地域で蓄積する

気軽にチャレンジできる場所やしくみ、小さなビジネスを始めるきっかけづくりが必要

しごとづくり

新しいことも大切だが、今やっていることを続けてくことが大切

事業継承

事業継承は可能性があるし地域にとっても大切だが、継いだ人が生活、自立できるかが課題

産業

これからの事業

キンカンのBC級品、地域であまった野菜などを使った加工品づくりができるチャレンジキッチン

地域経済循環

経済が町内で循環するしくみが大事

田舎を拠点に都市部に向けたビジネスは可能性がある

農業を志す若い人が戻って来れるきっかけをつくりたい

夜に開いている店や地域で楽しめられるような場を、個人の事業でやってみたい